

司法試験

---

## 赤木クラス1. 5年コースの全貌を大公開

---

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001213 190144

LM19014



入門講座<赤木クラス> 1. 5年コースの全貌大公開！

1 赤木クラスの目標等

2021年予備試験、2020京大LSへの合格

→中でも重要なウェイトを占める論文試験に重点

1年目講座から論文意識+2年目までの一貫指導

論文突破に必要な能力：当事者目線と条文至上主義

出題形式：事例・未知の問題

合格点：「一応の水準」（50点満点の21点以上）より少し上を全科目で

法律論文とは・・・条文を使いこなして事例の紛争を解決

↓そのために

事例把握力

法的思考力（条文についての基礎的な最低限の知識+思考方法）

応用力（条文の使いこなし、事実の分析等）

文章力

自己統制力

→「いつのまにか習得」、知識を条文に集約

## 2 赤木クラスの特徴・魅力

### (1) 1年目の重視

=論文力を1年目からじっくり養成

大事な1年目

論文対策という目的を持った学習（意識付け）

## INPUT

問題を解く感覚で、勉強。

事例、条文、当事者目線

講義後はしっかり復習、条文、理解

復習のペース等=回数とスパンが大事  
(短期間で複数回)

## OUTPUT

INPUTで示した解き方を実践

法的思考力以外の4つの力のベースもここで

復習するときの注意点

間違っていた場合は理由を考える

(2) 徹底したメリハリ付け

テキストと条文

マーカー

ランク付け

学習時期

手を広げるな

(3) 2年目主要講座も含めた全科目・一人の講師による一貫指導

←→憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政という順番の弊害

+科目ごとに講師変わる弊害

+INPUTとOUTPUT講師のズレ

+1年目と2年目で講師が変わることの弊害

(4) 勉強方法の方針

INPUT 1年目

2年目以降

OUTPUT 1年目

2年目以降

### 3 人より上にいくために何をすべきか

- ・「急がば回れ」・・・地道に基本をこつこつ
- ・最初にペースをつかむことが肝心
- ・人と同じことだけしては足りない・・・ $+\alpha$ は何か
- ・様々な自己コントロール術
  - ・時間
  - ・やる気でないとき
  - ・「解けない」が続くとき

### 4 速習クラスでの学習法

- (1) 春開講クラスに比べて数ヶ月のビハインド  
→約1.5倍の学習量で来年春に追いつく計算（まだまだ可能）  
↓  
週に2コマの生クラス＝週3ペースで追いつく  
生クラスに早期に合流しつつ、週1で後れた分をフォロー
- (2) 予習は不要・録音聞き直す等  
復習は最低2回分、出来たら2週4回分  
(週1で追いかける場合は3回分など)  
概ね、週に20～30時間は最低限確保する（時間よりも質）

(3) 隙間時間の有効活用

電車の行き帰り

風呂や布団に入る直前

気分乗らないときも「ながら」作業

**れっく LEC** 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2019 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

LM19014